

<p>【キャッチフレーズ】</p>  <p>笑顔・花・命</p>	<p>奄美市立大川小・中学校</p> <p>学校だより大川</p>	<p>【校訓】</p>  <p>勉学・協力・根性</p> <p>令和2年3月23日発行</p>
---	-----------------------------------	--

「雲外蒼天（うんがいそうてん）」

校長 前田浩之

新型コロナウイルス感染拡大の影響は、世界中に暗い雲を立ちこめさせています。私がかつて暮らしていたイタリアは、財政難で多くの医療施設を削減したため医療スタッフが不足し、致死率が考えられないほどに高くなってしまっています。アメリカは、医療費が高いうえに健康保険に加入していない国民が多く、「風邪なんかでは病院に行かない」国です。高額な検査を受けられない潜在的な感染者は、すごい数になっているでしょう。医療体制の整っている日本でも、医療パニックになってしまっただけで救える命も救えなくなってしまう。まずは感染拡大を抑えることが最優先事項だ。だから感染者が確認されていない地域でも、集団感染の可能性のある学校は休校するのだ。私はそう解釈しています。とは言え、子どものいない学校ほど寂しいものはありません。校内にある学童クラブの子どもたちの、外で元気に遊ぶ声が、私たち教職員の救いとなっています。

臨時休業のさなか、本校第72回卒業式は卒業生と一部の生徒会役員、保護者と教員のみでの参加で実施されました。時間短縮の指示もあり、例年卒業生に贈る仏教詩人 坂村真民先生の詩も、短いものを選びました。たった一行の詩です。

木が美しいのは 自分の力で立っているからだ

予測不能な未来にもどっしりと根を張り、力強く枝葉を伸ばし、誰からも愛される美しい花を咲かせてほしいと思います。

激動の社会を生き抜くために必要な「三つの眼」についても式辞に込めました。全体を俯瞰する「鳥の眼」、物事を詳細に見つめ分析する「虫の眼」、そして流れを読む「魚の眼」。生涯にわたり学び続けることでこの「三つの眼」を身につけ、自己実現（なりたいものになる）を果たしてほしいと思います。

明けない夜はありません。雲の上には蒼い空が広がっています。「雲外蒼天」：試練を努力で乗り越えれば、快い青空が望める。国民全体が一致団結して、この国難を乗り越える。日本人の国民性が問われています。

お願い：学校休業期間中（春休みを含む）の家庭での学習状況が、学校再開後に大きな差となって表れてきます。規則正しい生活と、学校から出された課題への計画的な取組を促してください。

2月後半～子どもたちの様子

バイオリン演奏会



バイオリニストの土屋昭穂さんと、ピアニストの松元拓士さんが来てくださり、素敵な演奏を披露してくれました。最後はみんなで「校歌」と「パプリカ」を素敵な演奏と一緒に歌いました。

新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休校

新型コロナウイルス感染症が国内外で広がりを見せる現状において、3月4日～3月22日まで臨時休校を行いました。ご理解、ご協力ありがとうございました。

PTA 送別会中止のお知らせ

新型コロナウイルスの影響が、鹿児島県並びに奄美市にも近づいてきている状況の中、苦渋の決断ではありますが、**今年度のPTA送別会を中止**することになりました。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

第72回卒業式



中学校卒業生 7名



小学校卒業生 11名



新型コロナウイルス感染症の影響により、卒業生とその保護者、職員のみでの卒業式となりました。

「お別れの歌」は、小・中ともに在校生も含めた全員で歌った動画を編集し、上映しました。

卒業生も保護者も涙の、感動的な卒業式となりました。卒業生の皆さん、本当におめでとうございます。輝く未来に向かって、自信をもって歩いていってください。